

# 社会から見た文化、文化から見た社会

## ——ポピュラー文化の批判理論による検討——

日 暮 雅 夫

2009年に本学に着任。現在、ドイツのフランクフルト学派のJ.ハーバーマス、A.ホネットやTh.W.アドルノの理論を中心に研究しています。そこでは、人が生きがいのある人生を送るためには社会はどのようなべきか、がテーマとなります。その視点から、現代社会における様々な社会文化現象（例えばオタク系文化、ポピュラー音楽等）を解明していきたいと考えています。

### 1. 専門演習の目標

フランクフルト学派の社会理論を基本的な視点として、現代社会のポピュラー文化と人の生き方の関係を考察します。そのために、問題を定立し、調査し、文献を読み、考察し、各自で表現し、皆でディスカッションする能力を身につけることを目指します。

### 2. 専門演習で扱う課題と内容

現代社会を批判する諸理論を扱います。そのなかでも特に、オタク系文化（マンガ、アニメ等）やポピュラー音楽（ジャズ等）を対象とした理論を取り上げます。

### 3. 授業の進め方・内容

3回生前期：テキストを決めて、それについて皆で順番でプレゼンテーションをし、ディスカッションする。懇親会、夏に合宿。

3回生後期：各自それぞれ、独自のテーマを決めて報告する。進路指導（就職活動・大学院進学等）を開始する。

4回生前期：卒業論文のテーマを決め、計画書を書き、調査、文献読解、要約を始め、可能な人は書き出す。各自その経過内容報告を行う。同時に進路相談。懇親会、夏に合宿。

4年生後期：卒業論文の執筆状況を各自報告する。同時に進路相談。

### 4. 必要とする知識

社会や文化に対して関心を持つことがまず大切です。読書力や文章力・表現力はある程度は前提となります。また、自分の好きなポピュラー文化を紹介できるようにしておきましょう。

### 5. 関連する分野・科目・知識

社会文化論、基礎社会学等。

### 6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

東浩紀『動物化するポストモダン』（講談社現代新書、2001年）と毛利嘉孝『ポピュラー音楽と資本主義』（せりか書房、2007年）。

### 7. 独自に付加する選考方法

希望人数が多ければ、面接をする場合があります。

### 8. 受講生に望むこと

ゼミにおいては自主性が大切です。自分から質問し、問題を提起し、ディスカッションで発言するようにしてください。そのためには、ふだんから社会文化現象に関心を持ち、読書し考察しそれを表現しておくことが前提となるでしょう。